

小平産の「食」全国・全道大会で高評価



三口勇一さん
第13回米・食味分析鑑定コンクール金賞

11月22日に米・食味鑑定士協会主催の第13回米・食味分析鑑定コンクールが群馬県川湯村で開かれ、三口勇一さん(大榎)が栽培したななつぼしが、都道府県選抜代表お米選手権部門で最高賞の金賞を受賞しました。

国内外合わせて3,071検体の出品の中から、1次・2次審査を経て39品が残り、30名の審査員のうち8名から票を獲得し、南るもい産米としては平成20年以來の金賞受賞となりました。

12月8日に関町長に金賞受賞の報告をした三口さんは、受け取った表彰状と盾を手に、喜びの表情を見せていました。



近江春枝さん
北海道T-1グランプリ2011個人の部グランプリ

12月11日にサッポロファクトリーで開催された、北海道T(漬物)ー1グランプリ2011で、近江春枝さん(沖内)の「サラダ風ニシン漬け」が個人の部でグランプリを受賞し、1月15日に東京タワーで行われる全国決勝大会に進出しました。

11月6日に旭川市で行われた道北ブロック大会で優秀賞を受賞した近江さんは、他のブロック大会を勝ち抜いた12作品(予選総参加数192作品)の中で最も高い評価を受けました。

12月14日に関町長に優勝報告をした近江さんは、全国決勝大会に向けて「北海道を代表して頑張ります」と意気込みを語りました。



目録を手渡す町建設業協会の金子会長

町建設業協会(金子俊彦会長)の介護用具寄贈式が町長室で行われ、金子会長と同協会役員4名が出席しました。
今回寄贈されたのは、入園者がベッドから寝起きする際に動作を補助するスイングアーム介助バー3台。寄贈式で、金子会長から「愛生園で使ってください」と目録を手渡された関町長は「大事に使わせていただきます」と、愛生園の開園以來、毎年贈られる善意に感謝を述べました。

11 | 24 愛生園に 寄贈

町建設業協会
介護用具寄贈式



おびら味噌を手渡すうまい会の加藤代表

小平町農産加工うまい会の加藤和子代表ら4名が町長室を訪れ、手作りの「小平みそ」30kgを寄贈しました。贈られた味噌は、仕込んでから2年間熟成されたもので、今年仕込んだ味噌からは鬼鹿産の昆布が使用され、2年後にはさらに地域に根ざした味噌が出回る予定です。
寄贈式で加藤代表から「児童生徒や愛生園入所者の食事に使ってください」と手作りの味噌を手渡された関町長は「心のこもった味噌を毎年ありがとうございます」と感謝の言葉を述べました。

11 | 25 手作り味噌 を寄贈

うまい会が
小平みそを寄贈